

【例会報告】令和8年度第1回国際日蓮学研究所例会

令和8年7月1日（水）10時25分より、「令和8年度第1回身延山大学国際日蓮学研究所例会」が開催された。今回の例会では、国際日蓮学研究所LBRP研究ユニットリーダーであり、本学特任講師の鈴木義孝先生を講師として、「身延山大学のラオスにおける活動とその意義」と題して発表が行われた。

本発表では、本学が行っているラオス世界遺産仏像修復事業の歩みと現在の活動、そして今後の展望について説明があった。発表後には所員たちによるディスカッションが行われ、各所員が自分の専門分野の知見から、今後本事業がより幅広く活動していくにはどうしたらよいか意見を出し合い、活発な議論がなされた。

また例会に際し、準備会・勉強会が開催された。

【準備会・勉強会参加者】

金 炳坤所長・桑名法晃主任・塩田宝樹副主任
鈴木義孝所員・叶 寧所員・小高絢子所員



3Dプリンタで出力したレプリカを用いながらラオスでの活動について説明する鈴木先生

記録：塩田宝樹
（国際日蓮学研究所副主任）